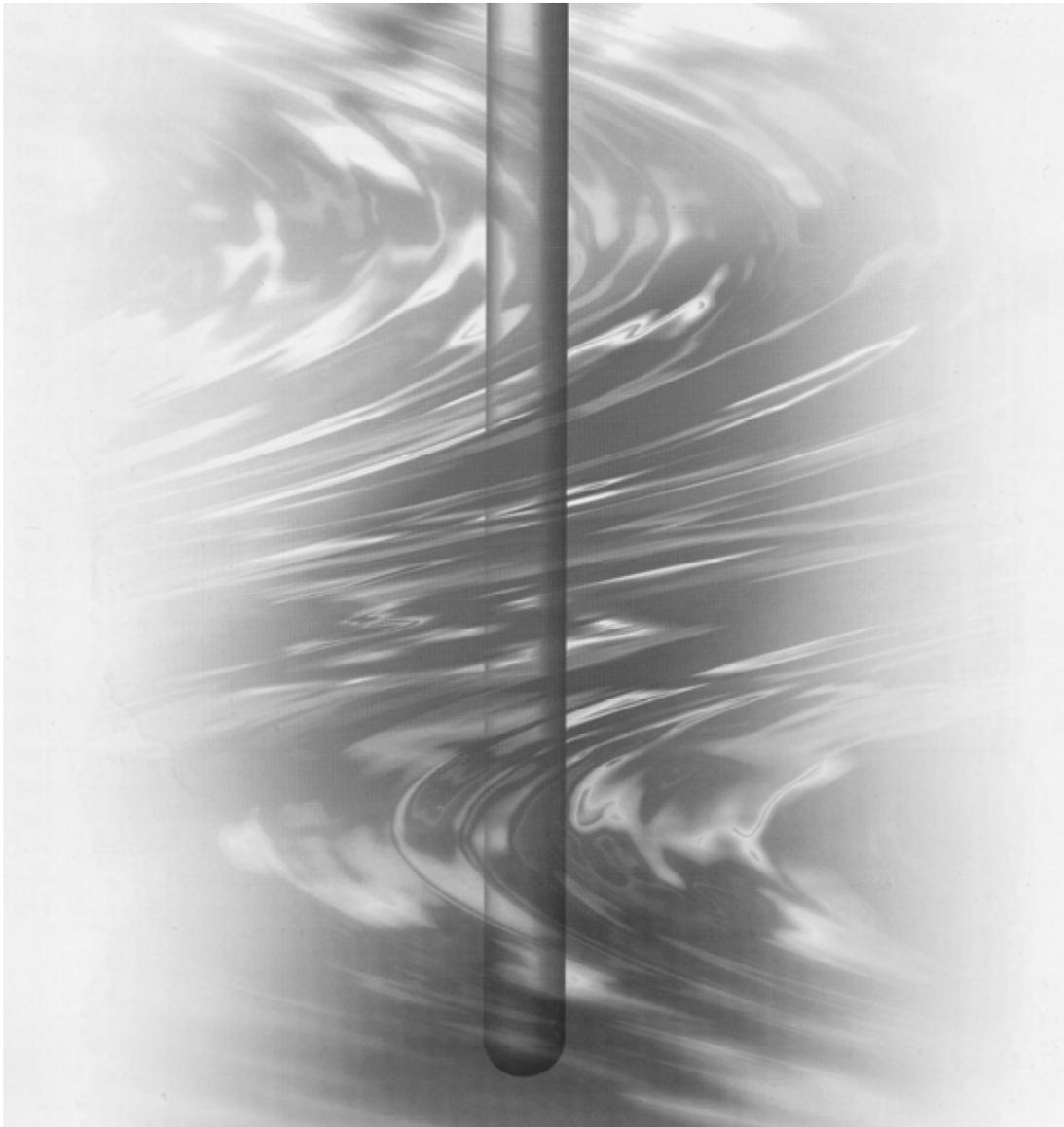


# セ ン サ ー

2007年 1月号 第40号

東京温度検出端工業会 会報



# 年 頭 雑 感

2007年1月

会 長 林 正 樹

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素は当工業会の運営にご理解、ご協力を頂き、有難うございます。

昨年はいわゆる「いざなぎ超え」といわれる戦後最長の景気の回復基調が続き、しかも消費や公共事業は依然、低調の様ですが、企業の設備投資が好調なため、私達をとりまく環境も大分明るさを取り戻して来たように感じられます。今年の干支は猪ですが、株の世界では戦後、1949年の東証再開以来4回あった猪年には4回とも、年末の日経平均株価が年初の株価を上回っているそうです。今年も是非、この回復基調が続いて欲しいものです。

ところで皆様もお仕事で毎日コンピュータをお使いでしょうが、コンピュータ及びその周辺の進歩と変化には本当に驚くばかりです。私が学校を卒業して入社した通信システムの会社で最初に出会ったのが、当時「ミニコン」と呼んでいたコンピュータでした。今から30数年前のことです。このミニコンを今のパソコンと比較すると、今のパソコンがいかに進んでいるかが良くわかります。

まず第一に当時のミニコンは電源を入れても、うんともすんとも言いません。それはコンピュータを立ち上げる一番最初のプログラム（ブートストラップローダ）が内臓されていないからです。そのため作業員がこのプログラムを本体前面のパネルのスイッチを操作して、1ビットづつ手で入力しなければなりません。今はメモリーに内臓されているので、電源さえ入れれば勝手に立ち上がってくれます。またメモリー容量もA3用紙ぐらいの大きさのプリント基板にメモリーICが数十個搭載されていて4Kバイト、それを最大8枚積み上げて（高さが50センチ以上になったと思います）32Kバイトですから、今の数万分の1しかありません。

それでいて価格は100万円以上したと思います。私の初任給が確か3万円でしたから、今の金額に換算すると1,000万円ぐらいに相当したと思います。確かにそのぐらいの存在感がありました。人間は夏でも冷房など無い部屋で汗をかきながら作業していましたが、ミニコンは空調のある部屋におかれていました。周辺機器もフロッピーディスクも無ければハードディスクもありません。だいたいディスプレイも無いのですから。プログラム作成用にテックス用を改造したタイプライター兼プリンターと、紙テープ！（プログラムは全て紙テープで保存していました）に穴を開ける穿孔機、紙テープからプログラムを読み込むテープリードぐらいしか周辺装置はありませんでした。大型コンピュータでも当時はプログラムやデータの入力は紙のパンチカードで行っていました。入力を代行する「電算システム」といった会社の看板を街のあちこちで見かけた記憶があります。

そういえば「男はつらいよ」の第1作目で10数年ぶりに妹のさくら（まだ独身でキーパンチャーをしているという設定でした）に再会した寅さんが「ところで今、何やってんの？ええ？キヤン？・・・そうかー電子やってんのかー」というシーンがあって、テキヤの寅さんには電子計算機

もキーパンチャーのことも全くわからないのですが、それらをひとまとめにして「電子やってる」というセリフがなんともいえず可笑しかったのを記憶しています。

またコンピュータを取り巻く環境もすっかり変わりました。当時は回線を電電公社が独占していて、勝手に回線に機器を接続することはできませんでした。ですから当時の総合商社や船会社は専用回線を借りて通信を行っていました。当然インターネットなども無かったのです。それが今や10万円あれば数百M(メガ!)バイトのメモリーと100G(ギガ!!)バイトのハードディスク付きの本体にキーボード、液晶ディスプレイにプリンターまで買えてしまいます。ハードウェアだけでなく、各種のアプリケーションソフトも簡単に手に入ります。ワープロソフト、表計算ソフト、メールソフト等々、今ではパソコンなしには毎日の業務ができないようになってしまいました。しかも誰でも自由に回線(最近では光ファイバーまであります)に接続でき、インターネットを通じて世界中の誰とでも文章や画像、映像のやりとりが出来てしまうのです。更にはオンラインショッピング、オンライントレード、オンライン予約等々、一体どこまで便利になるのでしょうか。また分からないこと、知りたいことがあれば、検索エンジンを使えば瞬時に、これでもかというぐらいの情報が得られてしまいます。これも本当に便利です。

先日、NHKの特集番組で検索エンジン最大手のグーグル社のことが紹介されていてご覧になった方も多いと思いますが、グーグル社の巨大さにも驚きますが、グーグルによる検索の結果、会社や病院のホームページが現れる順位によって会社や病院の収入・売上に大きな影響があるため、米国には検索結果の順位を上げるためのコンサルタント会社まであるそうです。

便利になる一方でコンピュータウイルスやホームページをそっくり偽造してクレジットカードの番号や暗証番号を聞き出すフィッシング詐欺が出現するなど、この世界が今後、どのようになっていくか、5年後、10年後を思っても全く想像できませんが、コンピュータを意識せず、誰でも簡単に、しかも安全に使えるものになって欲しいものです。

コンピュータの発達の歴史や未来のことを考えるときりがありませんが、余り長くなってもいけませんので、この辺で終わりにいたします。

最後になりましたが、今年1年が皆様にとって良い年でありますようお願いいたします。

## 会の動き

平成 18 年 2 月 3 日 講演会 ... 参加者 48 名 (21 社・団体)  
会場：巣鴨信用金庫本店会議室  
内容：「RoHS 指令について - 基礎から最新情報まで -」  
講師：(社)日本電気計測器工業会 若狭 裕氏

平成 18 年 2 月 3 日 新春懇親会 ... 参加者 39 名 (21 社・団体)  
会場：すがも「田村」

平成 18 年 3 月 2 日 第 32 期第 5 回理事会 ... 出席 9 社 10 名、欠席 2 社  
議題 定時総会詳細検討  
講演会・新年会結果報告  
工業会活性化問題

- 平成 18 年 3 月 31 日 退会会員会社 ... 1 社  
明陽電機(株)  
平成 18 年 4 月 1 日現在会員数 2 2 社
- 平成 18 年 5 月 26 日 第 32 回定時総会 ... 参加者 25 名 16 社  
会場：霞ヶ関東海倶楽部（霞ヶ関ビル 33 階）  
議題 第 32 期事業報告及び収支決算報告  
第 33 期事業計画案及び収支予算案審議
- 平成 18 年 5 月 26 日 懇親会 ... 参加者 30 名 17 社  
会場：霞ヶ関東海倶楽部（霞ヶ関ビル 33 階）
- 平成 18 年 7 月 6 日 第 33 期第 1 回理事会  
議題 定時総会・懇親会内容検討  
第 51 回技術懇談会開催について  
ホームページ推進について  
会員増加対策  
支出経費の削減
- 平成 18 年 7 月 12 日 ホームページ公開
- 平成 18 年 7 月 21 日 第 51 回記念技術懇談会 ... 参加者 30 名（15 社・団体）  
会場：都立産業技術研究所西が丘庁舎 4 F 第 4 会議室  
内容 東京都立産業技術研究センターの移転計画に伴う  
温度計測技術関連の新規設備導入計画 都産研 尾出氏  
温度標準技術の新規職員の自己紹介 都産研 沼尻氏  
測温抗体による温度計測上の注意点 林電工 池上氏  
指示計器付温度計の取り扱い方 田中貴金属 濱田氏
- 平成 18 年 9 月 7 日 第 33 期第 2 回理事会 ... 出席 10 社 10 名、欠席 1 社  
議題 第 51 回記念技術懇談会報告  
一日見学会について検討  
工業会活性化問題  
新年会・講演会の計画検討
- 平成 18 年 11 月 16 日 半日工場見学会 ... 参加者 13 社 21 名  
見学先：(財)電力中央研究所 狛江研究所
- 平成 18 年 12 月 7 日 第 33 期第 3 回理事会 ... 出席 8 社 8 名、欠席 3 社  
議題 半日工場見学会結果報告  
新春懇親会・講演会詳細検討

## ホームページの紹介



当工業会活性化及び新規会員の増加を目的にホームページを立ち上げました。

内容としては 当工業会の概要 工業会の歩み 会員企業紹介 イベント開催予定  
温度センサとは（解説：内容未定） 会報バックナンバーとなっており、バックナンバーは  
Web上で過去の会報（10年ほど前分まで）読めてしまいます。

新規会員の増加を目的としておりますので検索サイト（Yahoo! Japan）への登録も完了しております。Yahoo! Japanのトップページから検索していただくと最初に表示されます。

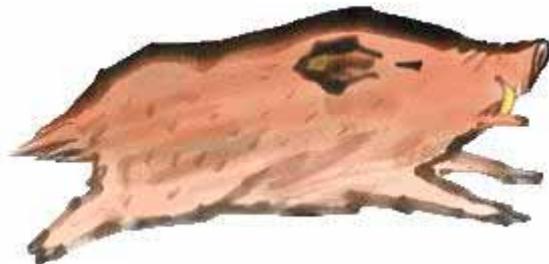
まだまだ充実した内容からはかけ離れておりますが、会員の皆様のご意見・ご希望を頂きながら中身の濃いサイトにしていく所存であります。御協力の程よろしくお願い致します。

アドレス： <http://www.ondo-sensor.jp/>

## 編集後記

昨年末より各地に寒波による大雪を降らせ...と書きました前シーズンとはうって変わって、東京では未だ初雪が降らない（平成19年1月29日現在）暖冬と呼ばれる気候状態であります。暖かくて過ごしやすくて一見よいことにも見受けられますが、やはり日本の四季は寒暖のメリハリがあつてこそのこと。私たちの生活もメリハリをつけて行きたいものです。

今年度も頑張っていきましょう。



平成19年1月発行 40

発行所 **東京温度検出端工業会**

事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚5-7-12

NKビル新大塚2F（株式会社ニッカトー内）

電話 03-5978-3500

FAX 03-5978-3504